

頑張り 和歌山箕島球友会



仁坂吉伸知事(65)

いよいよ日本選手権大会の初戦ですね。実業団の強豪チームが多い中、全国のクラブチームの代表として、監督、選手の皆さんが戦う姿は、県民の皆さんにきっと勇気と感動を与えてくれること期待しています。まずは初戦突破を目指し、郷土の誇りを胸に、チーム一丸となって頑張ってください。

頑張り 和歌山箕島球友会



木本産業会長、木本佳孝さん(56)

有田市立保田小・中学校で西川忠宏監督の1つ先輩でした。私は野球部ではありませんでした。が、1996年に箕島球友会が発足した時から応援しています。西川監督は一生懸命で、箕島球友会にすべてをかけている。その生き方がかっこいい。初戦突破という大きな目的を達成し、次の目的に向かって進んでほしいと思います。

頑張り 和歌山箕島球友会



有田市職員で和歌山箕島球友会応援団長、嶋田聡さん(43)

これまで日本選手権に出場した時はすべて京セラドーム大阪へ応援に行きました。応援団への参加は今回で2回目。職員や市民の有志約30人が集まって練習しています。野球も、応援するのも好き。応援にかこつけて楽しんでもらっています。何とか初戦突破してほしいですね。

頑張り 和歌山箕島球友会



松源箕島店長、黒崎修司さん(41)

仕事が朝早い中で、夕方から野球と両立させることは本当にハードなことだと思えます。大会の結果を店に勤務する選手たちから聞くのも楽しみです。1回戦は強豪との対戦ですが、出来る限りの力を発揮し、初の日本選手権勝利をつかんでほしいと思います。頑張ってください。

頑張り 和歌山箕島球友会



JR箕島駅前「マルキ食堂」経営、栗山繁盛さん(66)

チーム発足当初から応援しています。箕島球友会から注文を受けて出前することもありますが、練習時間の確保が難しく、企業チームに比べて不利な面はあると思います。しかし、西川忠宏監督の下でチーム一丸となって戦い、強豪相手に勝利を挙げることを期待しています。

市和歌山高野球部元監督, 真鍋忠嗣さん(58)



市和歌山高野球部元監督、真鍋忠嗣さん(58)

北面成也投手と榎原皓捕手は高校時代の3年間を預かった選手。教え子の活躍を聞くことほど嬉しいことはないです。せっかく球友会が選手として取ってくれたので、どんな形でもチームの役に立ててくれることを期待しています。シーズン後、元気な姿をまた見せてください。

頑張り 和歌山箕島球友会



有田市長、望月良男さん(43)

選手たちは仕事をしながら好きな野球をするチームを選び、厳しい環境で前向きにやっています。そこに強さのベースがあると思います。マッゲン有田球場の管理運営やイベントの手伝い、保育所の大掃除など地域貢献にも積極的に、有田市にはなくてはならない存在。私も京セラドーム大阪へ応援に行く予定です。

頑張り 和歌山箕島球友会



県高野連専務理事、泉立箕島高野球部OB、松下博紀さん(52)

全日本クラブ野球選手権大会で優勝するということは、仕事と野球を両立させ、限られた時間の中で練習してきた意識の高さが結果に表れたのではないかと思います。今度は、社会人野球の最高峰の舞台で、格上のチームを相手に立ち向かい、挑む姿を見せてください。臆することなくぶつかって、くれることを期待しています。

頑張り 和歌山箕島球友会



松源栄谷店長、篠原翔太さん(28)

Eースの寺岡大輝投手が今春入社してから一緒に仕事をしてきました。素直で吸収力も高く、野球との両立で疲れていても決して笑顔を絶やしません。朝礼で皆さんの支えがあって優勝することができました。とあいさつした立派な態度は印象的でした。まずは初戦突破ですが、完封勝利を期待しています。

頑張り 和歌山箕島球友会



和歌山箕島球友会前主将、松源一般食品課長、大北匠史さん(27)

引退して初めて見る試合なので楽しみ。先取点を奪って相手を焦らせる展開に持ち込めば、勝機は必ずあるはず。技術的には力のある選手ぞろい。一塁までの全力疾走など基本が徹底できているかに注目しようと思います。存分に暴れてほしいですね。

頑張り 和歌山箕島球友会



県立箕島高校2年、吹奏楽部部長、山口菜緒さん(16)

箕島球友会の人たちがマッゲン有田球場で日々練習に励み、日本選手権出場を決めたこと聞き、すごいと思いました。京セラドーム大阪で応援できるのを、今から楽しみにしています。試合当日は私たちも一生懸命演奏して盛り上げるので、選手皆さんも頑張ってください。

頑張り 和歌山箕島球友会



松源社長、兼田守さん(60)

選手たちはきちんと仕事をし、その後の数時間集中して練習しています。仕事がなまぐらではスポーツをする資格はない。一日中野球をしているノンプロの人より、精神的に強くなって当たり前です。相当の実力があり、今回は初戦突破が楽しみです。私も応援に行くつもりです。

頑張り 和歌山箕島球友会



箕島高野球部監督、尾藤強さん(46)

うちの選手たちにとって「野球のお兄ちゃん」たちの活躍は刺激になっていますし、技術などで盗めるものは盗んでほしい。有田市を元気にするため、お互いが切磋琢磨して向上していければいいと思います。強豪相手ですが、まずは本気で1勝を目指して下さい。さらに勝ち上げれば、多くの人に勇気を与えてくれると思います。

頑張り 和歌山箕島球友会



農産・川口成臣さん(71) 有田川町西丹生園

全国大会出場おめでとうございます。日ごろの練習の成果を十分発揮して「和歌山のアマチュア野球ここにあり」と全国に示して下さい。白球に夢を追い求める若男女の野球ファンの人生に希望を与えるよう、グラウンドで全力を尽くしてください。ファイト、私たち県民の箕島球友会。ホップ・ステップ・ジャンプでフィールドオブドリームスの日本一へ。

頑張り 和歌山箕島球友会



松源相撲部、岩出店農産課主任、チョールインバト・チンバトさん(27)

モンゴルから来日して、働きながら相撲をやっていますが、野球との両立は本当に大変だと思います。相撲でも負けて当たり前強い相手を倒すのが楽しみです。選手たちは伸び伸びとプレーして力を発揮し、企業チームに立ち向かう気持ちを忘れずに戦ってほしいです。

山下龍二外野手(26)



今大会を最後に現役を引退する山下龍二選手(26)は「長女が初めて試合に来るので必ずヒットを打つ」と強い決意を持ち、3番で先発出場。スタンドで妻康奈(ゆきな)さん(20)と10カ月の長女心湖(ここ)ちゃんが見守る八回に最後の打席で安打を打ち好機を広げた。尽誠学園高(香川)、三重中京大学(三重)を経て2011年に箕島球友会へ。当

最後の打席で安打

初は「(プロ入りという目標のため)自分だけ活躍出来れば」という思いもあったが、次第にチームが力を付け、企業チーム相手に互角に戦えるようになると「チームのために野球をやろう」と意識が変わった。9月の全日本クラブ野球選手権大会の準々決勝では、0-0の七回、フェンスに激突しながら左翼への大飛球を捕球。左肩を脱臼して交代したが、その裏の攻撃で仲間が奮闘して勝ち越し。優勝に向けて、大きな

転機となった。「まだ野球がしたい気持ちもある」と本音を漏らすこともあるが、仕事と野球の両立で休みもなく、帰宅時間も遅い。家族との時間を確保するため昨年末いったん引退を決意。だが水田信一郎捕手(27)から「来年までやろうや」と声をかけられ、ここまで全力でチームに貢献してきた。「このメンバーと野球ができて本当に楽しかった」と試合後は仲間と肩を抱き合った。【高橋祐貴】